

# 市民の W A

## 武蔵野市立図書館 朗読奉仕の会



定例会の様子

目が見えない方のために、  
本や雑誌、新聞などを朗読したり  
録音して貸し出しなどを行っている団体。  
高い目的意識でコツコツ活動を  
続けています。



2代目会長の松岡裕子さん

### 長年の活動により 今秋表彰を受ける

平成22年に設立30周年を迎えた「武蔵野市立図書館朗読奉仕の会」。目の不自由な方が本を楽しむことができると、録音図書制作をしたり、対面で朗読をしたりするボランティア団体だ。現在、正会員64名、賛助会員41名の計105名で活動している。

平成23年9月には、長年の活動と録音奉仕者の養成活動が顕著だったとして、財団法人鉄道弘済会主催の第41回朗読録音奉仕者感謝行事で、朗読録音奉仕グループ奨励賞を受賞した。

「以前は、3年に1回のボランティア養成講座を図書館事業として行っていました。今は2年に1回で募集しています」と、松岡裕子会長は話す。

### 聞きやすい朗読のため 日々勉強を続ける

「応募選考された方には、

朗読（音訳）の基礎を学ぶ初級コースを受講していただきます。日本語を読むのに、なぜわざわざ講座を受けなければならないの？と思われるかもしれませんが、正確に伝わるよう、わかりやすく読むことが大事ですし、読み方のルールもあります。録音機材も特殊なので、その使い方も

覚えていただくかなくてはけません。そのためにも講座は必要です。その後も、中級講座や個人指導などもあるので、日々勉強する姿勢が大切なボランティアなんですよ」  
次回のメンバー募集は、平成24年3月の予定。本が好きなで向上心がある方、ぜひ参加してみてください。

### 誰もが本を楽しめるように活動中



利用者と向き合って朗読を行う対面朗読



周囲の雑音のない録音室での朗読録音

### 武蔵野市立図書館朗読奉仕の会プロフィール

1980年発足。本の朗読以外にも、新聞記事の抜粋を朗読する「新聞切り抜き帳」や「週刊誌」、本の新作情報などをお知らせする「声の会報」を発行するなど、幅広い活動を展開中。

※サービス利用には登録が必要です。

問

中央図書館障害者サービス  
☎0422-51-5145

